NIE実践報告

１．タイトル：新聞記事に人と知の出会いを求めて～理科への興味・関心を高める取り組み～

２．学校名

豊後高田市立高田中学校

３．実践者名（代表者名）

清輔康一

４．学年

第２学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

理科　　３３名

６．単元（本時の学習課題）名

新聞記事に人と知の出会いを求めて

７．目標(狙い)

理科への興味・関心を高める。理科が生活の中でどのように生きているかを知るきっかけをつくる。

８．評価の視点

理科への興味・関心を高めることができたか。（授業後の感想・意見から）

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

授業中での５分間活用。　　年３回の新聞記事に登場した方との出会い（５時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

（１）年間を通して、理科に関する新聞記事を紹介し、理科への興味・関心を喚起する。また、そのことを通して理科が生活と密着していることを気付かせる。

（２）年間３回、新聞記事に登場した方に依頼をし、授業の中で、記事に取り上げられたことを実践してもらい、理科への興味・関心を引き出す。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

液体窒素を使った実験は、はじめてであったので、食い入るように見ていた。また、自分の予想とは違う結果に思わず声が出る場面もあり、興味・関心がもてたようであった。感想には、ほとんどの生徒が面白かった、なぜかを調べたい、またやりたいという類を書いていた。

12．成果と課題

液体窒素を使い、７種類の実験を行った。生徒はすべての実験を食い入るように見ながら、思考していた。予想を覆す結果が多く、驚きと興味を持つことができた。
新聞記事を通して、情報や知識を得ることができることだけでなく、今回のように記事に紹介されていた方と出会い、自分の興味・関心を引き出してくれることもあると実感できた。
紹介された方に連絡をとり、スケジュールを調整することや費用をどうするかという課題がある。